

家庭ゴミ削減が喫緊の課題

住民との意見交換

今改めてゴミ処理がクローズアップされている。それは燃やせるゴミの中に資源物が含まれ、リサイクル率の低下が課題だからである。

10月3日の協議会定例会と18日に行われた地元自治会環境指導員との意見交換会では、市担当課からの現状説明を踏まえ、リサイクルを含めたゴミ削減の取り組みへの意識強化が課題と提起された。

ゴミの削減には他市で行なわれているゴミ有料化が一つの有効な手法であるが、戸別収集との併用となれば手間がかかり、人件費が増えるとのデータもあり、解決策の切り札にはならないと思われる。

一部で検討されているバイオマスの活用などについても意見はあったが、新規事業の財源難との事情もあり、導入は難しいとの答えであった。

市財政状況の厳しいなか、有効な解決案が見いだせない現状で、地域住民に提起された課題は、再検討すべきと結論づけた。

防災訓練を通して 共助体制の構築急ぐ

10月15日に第18回地区防災訓練が小和田小学校にて行われた。当日はあいにくの雨模様ながら461名の参加があり、赤羽根中、松林中より110名もの生徒が参加してくれた。



救出救護訓練の様子

訓練の司会進行は赤羽根中放送部の生徒が参加し活気がある訓練となった。

5月に自治会ごとに行われた安否確認訓練とともに、6自治会内での連携は強化されているが、今後は地区内グループホームなどとも災害時の助け合いにも目を向けていきたい。

29年11月委員会の主な議事内容

〇各部会からの連絡・報告事項について

〈交通安全部会〉

「市長と語る会」で提案した、広域避難場所への誘導看板設置に関し、市担当課とも協議し、デザインや設置場所の検討が続けられている。

今後はまちぢから協議会の事業として市に申請する。

〈おひさま YU-ZU ルーム部会〉

来年4月の開設に向けて、机椅子などの館内備品の選定・発注を行った。カフェボランティアさんなどへの教育、利用団体の受付体制の確立など、最終準備の時期に入った。

地域への告知活動や利用団体への応募方法などの準備も行っている。

〈福祉部会〉

11月3日は小和田コミセンにて福祉バザーを開設し、多くの来場者で賑わった。

ご協力いただいた地域の関係者に心からお礼を申し上げます。

まちぢから協議会の部会活動にご参加ください！

小和田地区では、現在「福祉部会」「おひさま YU-ZU ルーム部会」「交通安全部会」「広報部会」を立ち上げ、地域の課題解決に向け、検討をしています。部会では定期的にどなたでも参加いただける『まちあるき』を行うなど、地域の皆さんにご意見を頂ける場を積極的に設けています。この紙面で紹介しますので、ぜひご参加ください。また、協議会の部会活動等に関心がある方は、ぜひご連絡ください。

